

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3603S		
科目名	危機管理実践研究 3		
担当教員	宮川 正		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	集中		
講義室		単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E（学識・専門技能）専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP6-K（創造的著戦力・達成力）文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能(40%) K1 ライティングコミュニケーション(20%) K2 オーラルコミュニケーション(40%)		
教員の実務経験	本校卒業後、航空自衛隊に入隊、以来40年余り国の安全保障にかかわる業務に従事しました。その間、米国留学や防衛駐在官勤務（米国）を経験するとともに、実任務としても中東地域に滞在しました。本授業では各国で得た実務経験を生かすと共に、グローバルな時代を生きていく学修者にとって必要な知識を還元していきます。（第1～15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	グローバルセキュリティ領域の専門科目を通じて学んだ知見を、具体的な問題に適用して、グループワーク、ディスカッション、ディバート、ロールプレイ等の双方向型学修技法に基づき再構成し、実社会において応用可能で再生産可能なスキルへと昇華することを目指します。座学と演習を通じて、直面した組織の情報収集・分析および意思決定の難しさに関して体験的な理解を深めることが本科目の目的です。 授業は対面で講義により行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニング（遠隔授業）を取り入れる場合があります ■キーワード 防衛省、JICA、東京都庁、国内外情勢		
授業の趣旨	■副題 肌で感じる現場感覚 ■授業の目的 「危機管理官庁における危機管理体制の確認」というテーマの下に、日本の危機管理制度と体制を学修し、危機管理を担当する人材に必要なとされる知見を獲得することを目的とします。 ■授業のポイント 事前準備をしっかりとすることにより、より充実した研修となります。訪問先では事前に勉強したことを確認するつもりで参加する様にしましょう。訪問先予定は、防衛省、国際平和協力		

	センター、国際協力機構（JICA）、東京都庁危機管理部署を計画していますが、訪問先との調整によって変更する可能性があります。										
総合到達目標	■ 本研修では次の項目の知識を習得し、基本を理解する。 ・ 研修先における危機管理体制について説明できるようになる。 ・ 訪問先において抱える課題について説明できるようになる。 ■ これらの知識を活用して、危機管理対応の基礎となる素養を身に付ける。 ・ 危機に直面しても落ち着いた対応ができるようになる。 ・ 危機対応の対処要領を立案ことができるようになる。										
成績評価方法	■ 授業参加度（60％） 適用ルーブリック E1,K1,K2 ■ 成果発表 1 回（20％） 適用ルーブリック E1,K1,K2 （評価の観点）研修の内容を踏まえて、論理立てて自分の考えを発表できるかをはかります。（フィードバックの方法）発表後、問題点等を確認します。 ■ レポート 1 回（20％） 適用ルーブリック E1,K1,K2 （評価の観点）研修の内容を踏まえて、論理立てて自分の考えを示しているかをはかります。（フィードバックの方法）模範解答を示しつつ問題点等を確認します。										
履修条件	特にありません。										
履修上の注意点	特にありません。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 事前学習 1 オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。（E1） ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、インターネットでの検索や図書館等にある書籍などを活用し訪問予定地の概要及び、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自分の学習計画などについて確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 事前学習 2 訪問先の概要 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 事前学習 3 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 事前学習 4 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 事前学習 1 オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。（E1） ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、インターネットでの検索や図書館等にある書籍などを活用し訪問予定地の概要及び、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自分の学習計画などについて確認する。	2	①授業テーマ 事前学習 2 訪問先の概要 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。	3	①授業テーマ 事前学習 3 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。	4	①授業テーマ 事前学習 4 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。
回	内容										
1	①授業テーマ 事前学習 1 オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。（E1） ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、インターネットでの検索や図書館等にある書籍などを活用し訪問予定地の概要及び、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自分の学習計画などについて確認する。										
2	①授業テーマ 事前学習 2 訪問先の概要 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。										
3	①授業テーマ 事前学習 3 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。										
4	①授業テーマ 事前学習 4 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（E1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。										

5	①授業テーマ 事前学習 5 ②授業概要 各訪問先の歴史的背景、施設の概要等について理解する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1) ③予習 (120分) 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習 (120分) 講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。
6	①授業テーマ 現地学習 1 ②授業概要 防衛省の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習 (45分) 防衛省の危機管理体制について調べておく。 ④復習 (45分) 防衛省の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
7	①授業テーマ 現地学習 2 ②授業概要 防衛省の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習 (45分) 防衛省の危機管理体制について調べておく。 ④復習 (45分) 防衛省の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
8	①授業テーマ 現地学習 3 ②授業概要 防衛省の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習 (45分) 防衛省の危機管理体制について調べておく。 ④復習 (45分) 防衛省の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
9	①授業テーマ 現地学習 4 ②授業概要 防衛省の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習 (45分) 防衛省の危機管理体制について調べておく。 ④復習 (45分) 防衛省の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
10	①授業テーマ 現地学習 5 ②授業概要 東京都庁の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習 (45分) 東京都庁の危機管理体制について調べておく。 ④復習 (45分) 東京都庁の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
11	①授業テーマ 現地学習 6 ②授業概要 東京都庁の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習 (45分) 東京都庁の危機管理体制について調べておく。

	④復習（45分） 東京都庁の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
12	①授業テーマ 現地学習 7 ②授業概要 東京都庁の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習（45分） 東京都庁の危機管理体制について調べておく。 ④復習（45分） 東京都庁の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
13	①授業テーマ 現地学習 8 ②授業概要 東京都庁の危機管理体制の概要について理解するとともに自らが経験する。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習（45分） 東京都庁の危機管理体制について調べておく。 ④復習（45分） 東京都庁の危機管理体制について気づいたことを整理しておく。
14	①授業テーマ 事後学習 1 訪問地の危機管理体制について ②授業概要 訪問先の現地研修を終え、個人またはグループで視察した各機関、施設について学修した内容を整理し、課題や特徴などを他者に発表できる資料としてまとめることができる。成果発表とレポートを提出する。その都度フィードバックをします。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習（120分） 現地で学習したことについて議論できるように整理する。 ④復習（120分） 研修時の課題、学習ノート、配布された授業資料や現地で入手した資料等を確認し、要点や疑問点について整理する。
15	①授業テーマ 事後学習 2 訪問地の危機管理体制について ②授業概要 現地での現地研修を終え、個人またはグループで視察した各機関、施設について学修した内容を整理し、他者に発表できる資料としてまとめることができる。成果発表とレポートを提出する。その都度フィードバックをします。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1、K1、K2) ③予習（120分） 現地で学習したことについて議論できるように整理する。 ④復習（120分） 研修時の課題、学習ノート、配布された授業資料や現地で入手した資料等を確認し、要点や疑問点について整理する。
関連科目	行政リスクガバナンス(RMGT1309S)、防衛政策(RMGT3557)
教科書	■その都度指示します。
参考書・参考URL	■授業内で適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィス・アワー 開講時に告知します。それ以外の時間帯については、メール等で事前の appointments をとることにより研究室等で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%：パブリックセキュリティ25%：グローバルセキュリティ25%：情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%：法学20%

